地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川西棟
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 9
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：港南4－2－5
事業所等の延床面積	1,750.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 169	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 329	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 331	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 187.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	697.9	45.00	31.4	0.0136	1.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	671,222.0	9.76	6,551.1	0.4890	328.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,582.5		⑮ 329.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,782.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,782.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川東棟
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 8 1
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：港南4－2－6
事業所等の延床面積	887.06 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 168	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 170	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 189.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	16,086.1	45.00	723.9	0.0136	36.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	270,704.0	9.76	2,642.1	0.4890	132.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,365.9		⑮ 168.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,093.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,093.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	MY ARK日本橋ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 5			
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 0 6	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	日本橋富沢町10－16		
事業所等の延床面積	4,781.96 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 146	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 284	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 285	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 59.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	582,792.0	9.76	5,688.0	0.4890	285.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,688.0		⑮ 285.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,390.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,390.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ茅場町
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：新川1－8－2
事業所等の延床面積	7,689.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 251	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 488	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 495	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 63.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	67,722.9	45.00	3,047.5	0.0136	152.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	688,480.0	9.76	6,719.6	0.4890	336.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,767.1		⑮ 488.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,981.0			0.2660	2.9
	公共下水道		□	m^3	10,981.0			0.4000	4.4
合　計									⑯ 7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ九段下													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	7	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	5	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	西神田2－4－4												
事業所等の延床面積	2,890.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	■ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 124	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 240	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 244	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	29,955.7	45.00	1,348.0	0.0136	67.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	354,460.0	9.76	3,459.5	0.4890	173.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,807.5		⑮ 240.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,937.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,937.0			0.4000	2.8
合 計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ上野
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 4
事業所等の所在地	〒 1 1 1 － 0 0 5 6　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：小島2－4－4
事業所等の延床面積	3,825.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 99	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 192	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 195	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	29,989.5	45.00	1,349.5	0.0136	67.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	256,592.0	9.76	2,504.3	0.4890	125.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,853.9		⑮ 192.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,489.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,489.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ新宿
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 4
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：歌舞伎町2－40－9
事業所等の延床面積	1,639.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 130	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	21,304.1	45.00	958.7	0.0136	47.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	164,914.0	9.76	1,609.6	0.4890	80.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,568.2		⑮ 128.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,464.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,464.0			0.4000	1.4
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ大手町													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	6	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	4	7	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	内神田1－8－8												
事業所等の延床面積	3,310.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	■ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 132	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 257	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 261	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	35,651.2	45.00	1,604.3	0.0136	80.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	363,542.0	9.76	3,548.2	0.4890	177.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,152.5		⑮ 257.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,064.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,064.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ東京八丁堀
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 0
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 5　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　日本橋茅場町3－3－3
事業所等の延床面積	2,399.50 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 42	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 84	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 34.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	6,275.5	45.00	282.4	0.0136	14.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	141,821.0	9.76	1,384.2	0.4890	69.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,666.6		⑮ 83.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,935.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,935.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ日本橋箱崎													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	6	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	1	5	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	日本橋箱崎町20－10												
事業所等の延床面積	3,176.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	■ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 204	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 206	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	24,671.0	45.00	1,110.2	0.0136	55.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	304,635.0	9.76	2,973.2	0.4890	149.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,083.4		⑮ 204.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,348.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,348.0			0.4000	1.3
合 計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ浜松町													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	6	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝1－6－5												
事業所等の延床面積	2,678.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	■ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 83	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 162	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 164	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 60.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	24,959.0	45.00	1,123.2	0.0136	56.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	217,848.0	9.76	2,126.2	0.4890	106.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,249.4		⑮ 162.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,527.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,527.0			0.4000	1.4
合 計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ナイカイ青山ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 6 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：南青山4－20－19
事業所等の延床面積	1,345.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 106	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	218,427.0	9.76	2,131.8	0.4890	106.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,131.8		⑮ 106.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,145.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,145.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ水道橋ビルアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 9
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 1　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：神田三崎町3-3-23
事業所等の延床面積	6,546.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 161	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 313	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 314	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 47.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	641,800.0	9.76	6,264.0	0.4890	313.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,264.0		⑮ 313.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,346.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,346.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ東銀座ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 5　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：築地6－19－20
事業所等の延床面積	27,599.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 978	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,899	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,908	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 68.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	126,695.6	45.00	5,701.3	0.0136	284.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,302,942.0	9.76	32,236.7	0.4890	1,615.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 37,938.0		⑮ 1,899.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	16,032.0			0.2660	4.3
	公共下水道		□	m^3	13,490.0			0.4000	5.4
合　計									⑯ 9.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ふくおか半蔵門ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 4			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	麹町1-12-1		
事業所等の延床面積	11,678.64 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 226	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 440	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 441	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 37.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	239.7	45.00	10.8	0.0136	0.5
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	898,894.0	9.76	8,773.2	0.4890	439.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,784.0		⑮ 440.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,017.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,017.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヨコソーレインボータワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	海岸3-20-20												
事業所等の延床面積	40,584.18	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 909	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,764	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 11	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,775	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	151,692.3	45.00	6,826.2	0.0136	340.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,913,212.0	9.76	28,432.9	0.4890	1,424.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 35,259.1		⑮ 1,765.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	18,649.0			0.2660	5.0
	公共下水道		□	m^3	16,393.0			0.4000	6.6
合 計									⑯ 11.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ランドマークプラザ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1　区市町村名　東京都港区 町名番地以下　芝公園1－6－7
事業所等の延床面積	5,109.48 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 164	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 320	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 321	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	654,541.0	9.76	6,388.3	0.4890	320.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,388.3		⑮ 320.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,200.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,200.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一ツ橋ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 6			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田神保町3－29－1		
事業所等の延床面積	5,359.65 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 166	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 323	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 324	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 60.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	662,387.0	9.76	6,464.9	0.4890	323.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,464.9		⑮ 323.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,095.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,095.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一番町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	4	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	一番町8												
事業所等の延床面積	11,102.44	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 242	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 470	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 471	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	962,021.0	9.76	9,389.3	0.4890	470.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,389.3		⑮ 470.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,175.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,175.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産永田町ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 1			
事業所等の所在地	〒 1 0 0 － 0 0 1 4	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	永田町2－17－3		
事業所等の延床面積	2,973.81 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 141	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 141	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 47.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	288,976.0	9.76	2,820.4	0.4890	141.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,820.4		⑮ 141.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,113.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,113.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産猿楽町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	4	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	猿楽町2－8－8												
事業所等の延床面積	20,930.58	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 902	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,835	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 15	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,850	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 87.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	134,876.4	45.00	6,069.4	0.0136	302.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	130,000.0	36.70	4,771.0	0.0185	323.6
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,472,832.0	9.76	24,134.8	0.4890	1,209.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 34,975.3		⑮ 1,835.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	24,194.0			0.2660	6.4
	公共下水道		□	m^3	22,840.0			0.4000	9.1
合 計									⑯ 15.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産音羽ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	7				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	1	2	区市町村名	東京都文京区			
	町名番地以下	大塚2－9－3												
事業所等の延床面積	2,341.97	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 198	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 384	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 386	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 163.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	786,939.0	9.76	7,680.5	0.4890	384.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 7,680.5		⑮ 384.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,066.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,066.0			0.4000	1.2
合 計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	新川1－16－3		
事業所等の延床面積	10,533.88 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点	リニューアルによる燃料(灯油)廃止			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 341	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 663	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 665	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 62.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,356,754.0	9.76	13,241.9	0.4890	663.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,241.9		⑮ 663.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,157.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,166.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 8
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：新川2－26－3
事業所等の延床面積	7,124.40 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 314	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 315	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	644,023.0	9.76	6,285.7	0.4890	314.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,285.7		⑮ 314.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,759.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,759.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産亀戸ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	3	7				
事業所等の所在地	〒	1	3	6	－	0	0	7	1	区市町村名	東京都江東区			
	町名番地以下	亀戸1-42-20												
事業所等の延床面積	12,077.19	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 354	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 687	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 689	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 56.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	67,071.3	45.00	3,018.2	0.0136	150.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,098,820.0	9.76	10,724.5	0.4890	537.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 13,742.7		⑮ 687.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,259.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	3,612.0			0.4000	1.4
合 計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産京橋ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	3	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	4	1	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	新富1－18－1												
事業所等の延床面積	7,612.48	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 340	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 660	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 662	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 86.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,351,679.0	9.76	13,192.4	0.4890	661.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 13,192.4		⑮ 661.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,775.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,775.0			0.4000	1.5
合 計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	0				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	九段北1－8－10												
事業所等の延床面積	17,789.12	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 668	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,298	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,301	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,656,102.0	9.76	25,923.6	0.4890	1,298.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 25,923.6		⑮ 1,298.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,499.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,499.0			0.4000	2.2
合 計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段下ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	5	1	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田神保町3－5												
事業所等の延床面積	6,090.09	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 228	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 443	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 445	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	907,175.0	9.76	8,854.0	0.4890	443.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,854.0		⑮ 443.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,021.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,021.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段北ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 2			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 3	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	九段北3－2－11		
事業所等の延床面積	6,507.95 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 273	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 530	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 533	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 81.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,084,367.0	9.76	10,583.4	0.4890	530.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,583.4		⑮ 530.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,300.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,300.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	恵比寿SSビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 7
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 3　区市町村名：東京都渋谷区 町名番地以下：恵比寿4－3－14
事業所等の延床面積	9,079.12 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 194	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 377	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 378	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 41.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	772,515.0	9.76	7,539.7	0.4890	377.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,539.7		⑮ 377.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,211.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,211.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産元赤坂ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：元赤坂1－5－12
事業所等の延床面積	5,966.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 250	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 486	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 487	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	994,546.0	9.76	9,706.8	0.4890	486.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,706.8		⑮ 486.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,245.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,245.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産原宿ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	9	1				
事業所等の所在地	〒	1	5	0	－	0	0	0	1	区市町村名	東京都渋谷区			
	町名番地以下	神宮前2－34－17												
事業所等の延床面積	18,901.94	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 730	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,419	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,424	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,902,073.0	9.76	28,324.2	0.4890	1,419.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 28,324.2		⑮ 1,419.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,672.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,672.0			0.4000	3.5
合 計									⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	原宿グランドヒルズ													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	1	5				
事業所等の所在地	〒	1	5	1	－	0	0	5	1	区市町村名	東京都渋谷区			
	町名番地以下	千駄ヶ谷3－53												
事業所等の延床面積	1,223.47	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 39	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 76	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 76	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	156,760.0	9.76	1,530.0	0.4890	76.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,530.0		⑮ 76.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	394.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	394.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友五反田ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	0	9				
事業所等の所在地	〒	1	4	1	－	0	0	3	1	区市町村名	東京都品川区			
	町名番地以下	西五反田7－1－1												
事業所等の延床面積	5,170.51	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 124	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 241	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 241	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	494,402.0	9.76	4,825.4	0.4890	241.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,825.4		⑮ 241.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,336.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,336.0			0.4000	0.5
合 計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	五番町YSビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 5			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 6	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	五番町12－3		
事業所等の延床面積	1,712.46 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 205	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 399	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 399	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 232.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	817,950.0	9.76	7,983.2	0.4890	400.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,983.2		⑮ 400.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	796.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	796.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産後楽園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	6				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	2	区市町村名	東京都文京区			
	町名番地以下	小石川1－4－1												
事業所等の延床面積	22,796.99	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 773	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,500	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,505	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	87,375.6	45.00	3,931.9	0.0136	196.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,667,885.0	9.76	26,038.6	0.4890	1,304.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 29,970.5		⑮ 1,500.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,214.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,214.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門タワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝公園1-1-1												
事業所等の延床面積	32,692.84	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,118	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,172	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総　計(④=②+③)	④	2,181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,092.9	45.00	1,129.2	0.0136	56.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,326,719.0	9.76	42,228.8	0.4890	2,115.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 43,358.0		⑮ 2,172.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,411.0			0.2660	3.8
	公共下水道		□	m^3	14,411.0			0.4000	5.8
合　計									⑯ 9.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	0	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	新橋6-17-21												
事業所等の延床面積	8,896.23	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	321	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	625	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総　計(④=②+③)	④	628	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	70.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,278,125.0	9.76	12,474.5	0.4890	625.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,474.5		⑮ 625.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,945.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,945.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	2	1	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	外神田2-2-3												
事業所等の延床面積	12,792.66	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 322	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 626	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総 計(④=②+③)	④ 629	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 48.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,281,340.0	9.76	12,505.9	0.4890	626.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 12,505.9		⑮ 626.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,804.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,804.0			0.4000	1.9
合 計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビルアネックス													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田駿河台2－3												
事業所等の延床面積	3,526.80	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 59	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 16.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	121,807.0	9.76	1,188.8	0.4890	59.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 1,188.8		⑮ 59.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	571.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	571.0			0.4000	0.2
合 計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水ファーストビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	8	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田駿河台2－5－1												
事業所等の延床面積	11,387.86	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 500	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 972	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 978	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 85.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,988,255.0	9.76	19,405.4	0.4890	972.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,405.4		⑮ 972.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,167.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,167.0			0.4000	4.1
合　計									⑯ 6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水杏雲ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 5			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 2	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田駿河台2－2		
事業所等の延床面積	26,575.08 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 734	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,373	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 9	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,382	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 51.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	16,915.5	45.00	761.2	0.0136	38.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（温水）		□	MJ	1,977,000.0	1.36	2,688.7	0.0600	118.6
	その他（冷水）		□	MJ	4,548,000.0	1.36	6,185.3	0.0600	272.9
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,930,967.0	9.76	18,846.2	0.4890	944.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 28,481.4		⑮ 1,373.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,756.0			0.2660	4.2
	公共下水道		□	m^3	13,390.0			0.4000	5.4
合　計									⑯ 9.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産江戸川橋駅前ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 2
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都文京区 町名番地以下：関口1－20－10
事業所等の延床面積	4,931.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 199	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 386	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 387	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	790,699.0	9.76	7,717.2	0.4890	386.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,717.2		⑮ 386.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,119.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,119.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産高輪パークタワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 8
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 2 2　区市町村名：東京都品川区 町名番地以下：東五反田3－20－14
事業所等の延床面積	16,718.36 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 829	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,608	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,616	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 96.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	168,928.7	45.00	7,601.8	0.0136	379.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,514,021.0	9.76	24,536.8	0.4890	1,229.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 32,138.6		⑮ 1,608.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,127.0			0.2660	3.8
	公共下水道		□	m^3	11,315.0			0.4000	4.5
合　計									⑯ 8.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	4	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	二番町5－1												
事業所等の延床面積	9,849.81	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 320	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 621	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 623	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 63.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,270,947.0	9.76	12,404.4	0.4890	621.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,404.4		⑮ 621.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,012.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,012.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル3号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	麹町3－6												
事業所等の延床面積	3,874.87	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 141	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 274	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 274	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 70.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	561,526.0	9.76	5,480.5	0.4890	274.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 5,480.5		⑮ 274.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,058.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,058.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ガーデンタワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	麹町5-1-1												
事業所等の延床面積	47,676.90	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,499	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,911	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 15	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,926	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	32,171.2	45.00	1,447.7	0.0136	72.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,806,152.0	9.76	56,668.0	0.4890	2,839.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 58,115.7		⑮ 2,911.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	25,090.0			0.2660	6.7
	公共下水道		□	m^3	22,462.0			0.4000	9.0
合 計									⑯ 15.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C808	温湿度の適正管理
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C812	自動販売機の不要時の停止
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C818	エレベータ運転台数の制限
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル4号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	1	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	麹町2－10－9												
事業所等の延床面積	3,957.52	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 161	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 312	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 312	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	639,685.0	9.76	6,243.3	0.4890	312.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 6,243.3		⑮ 312.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	741.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	741.0			0.4000	0.3
合 計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ファーストビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	麹町4-2-6												
事業所等の延床面積	13,502.31	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 373	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 724	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 727	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 53.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	416.6	45.00	18.7	0.0136	0.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,480,408.0	9.76	14,448.8	0.4890	723.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,467.5		⑮ 724.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,458.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,458.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産笹塚太陽ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	9	8				
事業所等の所在地	〒	1	5	1	－	0	0	7	3	区市町村名	東京都渋谷区			
	町名番地以下	笹塚1－48－3												
事業所等の延床面積	7,396.07	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 254	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 494	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 496	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,010,773.0	9.76	9,865.1	0.4890	494.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,865.1		⑮ 494.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,463.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,463.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三田ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝5-37-8												
事業所等の延床面積	24,937.91	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	861	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,669	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総　計(④=②+③)	④	1,677	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	66.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	267,817.5	45.00	12,051.8	0.0136	601.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,185,112.0	9.76	21,326.7	0.4890	1,068.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,378.5		⑮ 1,669.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,044.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	12,044.0			0.4000	4.8
合　計									⑯ 8.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三番町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	4	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	5	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	三番町6－26												
事業所等の延床面積	1,606.80	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 90	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 175	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 175	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 108.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	358,828.0	9.76	3,502.2	0.4890	175.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,502.2		⑮ 175.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	796.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	796.0			0.4000	0.3
合 計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三富ビル新館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 6
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 3　区市町村名：東京都渋谷区 町名番地以下：恵比寿1－20－18
事業所等の延床面積	9,623.90 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 393	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 780	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 784	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,913.1	45.00	626.1	0.0136	31.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	24,299.0	36.70	891.8	0.0185	60.5
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,408,056.0	9.76	13,742.6	0.4890	688.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,260.5		⑮ 780.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,469.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,469.0			0.4000	3.0
合　計									⑯ 5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産四谷ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	9	3				
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	0	7	区市町村名	東京都新宿区			
	町名番地以下	荒木町13－4												
事業所等の延床面積	14,153.70	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 547	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,062	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,068	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,173,027.0	9.76	21,208.7	0.4890	1,062.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 21,208.7		⑮ 1,062.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,493.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,493.0			0.4000	3.8
合 計									⑯ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友市ヶ谷ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 2			
事業所等の所在地	〒 1 6 2 － 0 8 4 5	区市町村名	東京都新宿区	
	町名番地以下	市谷本村町1－1		
事業所等の延床面積	16,017.44 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 386	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 751	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 755	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 46.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	5,224.8	45.00	235.1	0.0136	11.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,512,293.0	9.76	14,760.0	0.4890	739.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,995.1		⑮ 751.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,332.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,332.0			0.4000	2.9
合　計									⑯ 4.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産汐留ウイング													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	2	1	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	東新橋1-2-17												
事業所等の延床面積	9,898.29	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 264	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 514	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 516	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,052,294.0	9.76	10,270.4	0.4890	514.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 10,270.4		⑮ 514.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,118.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,118.0			0.4000	1.2
合 計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C811	自動販売機の休日・夜間照明停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝1－11－11												
事業所等の延床面積	20,572.06	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 936	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,817	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,822	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	197,381.2	45.00	8,882.2	0.0136	442.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	6.0	36.70	0.2	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,809,967.0	9.76	27,425.3	0.4890	1,374.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 36,307.7		⑮ 1,817.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,288.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	7,492.0			0.4000	3.0
合 計									⑯ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル2号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	0	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝1－5－9												
事業所等の延床面積	4,951.19	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 110	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 214	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 214	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	437,976.0	9.76	4,274.6	0.4890	214.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,274.6		⑮ 214.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,259.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,259.0			0.4000	0.5
合 計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 0
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝1－7－17
事業所等の延床面積	14,017.25 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 421	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 817	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 823	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	89,735.5	45.00	4,038.1	0.0136	201.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,259,093.0	9.76	12,288.7	0.4890	615.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,326.8		⑮ 817.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,163.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	9,225.0			0.4000	3.7
合　計									⑯ 6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル4号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝2－13－4
事業所等の延床面積	11,452.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 348	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 676	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 679	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,383,172.0	9.76	13,499.8	0.4890	676.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,499.8		⑮ 676.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,108.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,108.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝浦ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 6			
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 2 3	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	芝浦4－16－36		
事業所等の延床面積	15,029.51 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 526	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 987	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 989	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 65.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	18,210.8	45.00	819.5	0.0136	40.9
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（温水）		□	MJ	1,340,000.0	1.36	1,822.4	0.0600	80.4
	その他（冷水）		□	MJ	2,831,000.0	1.36	3,850.2	0.0600	169.9
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,424,907.0	9.76	13,907.1	0.4890	696.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 20,399.1		⑮ 987.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,263.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,263.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝園ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝公園2－10－1
事業所等の延床面積	3,493.19 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 183	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 184	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	375,910.0	9.76	3,668.9	0.4890	183.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,668.9		⑮ 183.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,660.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,660.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝公園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	2	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝2－7－17												
事業所等の延床面積	17,302.13	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	□ 1年度分	■ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点	ビル解体													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 23	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 45	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 45	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 2.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	93,142.0	9.76	909.1	0.4890	45.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 909.1		⑮ 45.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.2660	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.4000	0.0
合 計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝公園タワー										
事業所番号	A	1	0	2	6	ー	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	ー	0	0	1	1	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	芝公園2－11－1									
事業所等の延床面積	32,743.24	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満							
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有										
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1,137	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 2,209	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 2,215	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 67.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	4,519,091.0	9.76	44,106.3	0.4890	2,209.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 44,106.3		⑮ 2,209.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,973.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	9,973.0			0.4000	4.0
合　計									⑯ 6.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝三丁目ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝3－39－9												
事業所等の延床面積	5,831.08	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 399	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 776	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 777	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 133.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,587,193.0	9.76	15,491.0	0.4890	776.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,491.0		⑮ 776.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,072.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,072.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝大門ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	2	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝大門2－5－5												
事業所等の延床面積	12,951.08	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 340	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 662	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 664	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,353,975.0	9.76	13,214.8	0.4890	662.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 13,214.8		⑮ 662.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,014.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,014.0			0.4000	1.6
合 計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝大門ビル2号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝大門1－12－16												
事業所等の延床面積	2,353.55	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 128	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 54.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	263,026.0	9.76	2,567.1	0.4890	128.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 2,567.1		⑮ 128.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	980.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	980.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝大門二丁目ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 0
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝大門2-11-8
事業所等の延床面積	8,589.19 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 209	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 407	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 408	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 47.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	833,772.0	9.76	8,137.6	0.4890	407.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,137.6		⑮ 407.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,244.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,244.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	外神田3－12－8		
事業所等の延床面積	31,990.89	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1,244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 2,416	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 11	t
	総　計（④=②+③）	④ 2,427	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 75.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	4,941,631.0	9.76	48,230.3	0.4890	2,416.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 48,230.3		⑮ 2,416.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	17,832.0			0.2660	4.7
	公共下水道		□	m^3	17,832.0			0.4000	7.1
合　計									⑯ 11.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 3
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：外神田1-5-1
事業所等の延床面積	26,059.68 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 657	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,276	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,279	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 48.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,610,846.0	9.76	25,481.9	0.4890	1,276.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 25,481.9		⑮ 1,276.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,529.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,529.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストテラス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：外神田1-9-1
事業所等の延床面積	990.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 108	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 108	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 109.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	222,047.0	9.76	2,167.2	0.4890	108.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,167.2		⑮ 108.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,241.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,241.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A216	所内会議・研修会等で報告
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	2	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田練塀町300番地												
事業所等の延床面積	27,060.36	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 820	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,593	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,598	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	242.2	45.00	10.9	0.0136	0.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,257,797.0	9.76	31,796.1	0.4890	1,593.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 31,807.0		⑮ 1,593.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,667.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,667.0			0.4000	3.1
合 計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原北ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	5				
事業所等の所在地	〒	1	1	0	－	0	0	0	5	区市町村名	東京都台東区			
	町名番地以下	上野5-2-1												
事業所等の延床面積	11,596.32	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 521	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,011	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,014	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 87.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,069,061.0	9.76	20,194.0	0.4890	1,011.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 20,194.0		⑮ 1,011.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,235.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,235.0			0.4000	2.1
合 計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷インフォスアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 9 8
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 3 1　区市町村名：東京都渋谷区 町名番地以下：桜丘町12－10
事業所等の延床面積	5,315.59 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 220	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 428	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 429	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	875,438.0	9.76	8,544.3	0.4890	428.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,544.3		⑮ 428.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,600.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,600.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	渋谷インフォスウイング			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 3			
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 3 1	区市町村名	東京都渋谷区	
	町名番地以下	桜丘町20－4		
事業所等の延床面積	6,040.32 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 271	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 526	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 527	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 87.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,076,843.0	9.76	10,510.0	0.4890	526.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,510.0		⑮ 526.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,522.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,522.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷タワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	7				
事業所等の所在地	〒	1	5	0	－	0	0	1	1	区市町村名	東京都渋谷区			
	町名番地以下	宇田川町40-1												
事業所等の延床面積	31,380.96	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,350	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,622	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,629	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	96.7	45.00	4.3	0.0136	0.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,362,917.0	9.76	52,342.1	0.4890	2,622.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 52,346.4		⑮ 2,622.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,066.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	12,868.0			0.4000	5.1
合　計									⑯ 7.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷ファーストタワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	2				
事業所等の所在地	〒	1	5	0	－	0	0	1	1	区市町村名	東京都渋谷区			
	町名番地以下	東1-2-20												
事業所等の延床面積	52,941.53	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,165	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,263	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総　計(④=②+③)	④	2,270	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	42.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,629,608.0	9.76	45,185.0	0.4890	2,263.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 45,185.0		⑮ 2,263.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,410.0			0.2660	3.3
	公共下水道		□	m^3	11,633.0			0.4000	4.7
合　計									⑯ 8.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきハイツ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 9
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 5 4　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：勝どき3-9-7
事業所等の延床面積	312.39 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 8 4 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 64	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 125	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 134	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 400.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	38,227.3	45.00	1,720.2	0.0136	85.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	81,447.0	9.76	794.9	0.4890	39.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,515.2		⑮ 125.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,719.0			0.2660	3.6
	公共下水道		□	m^3	13,719.0			0.4000	5.5
合　計									⑯ 9.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C808	温湿度の適正管理
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無

目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきビル南館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	5	4	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	勝どき6－1－15												
事業所等の延床面積	14,478.43	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 575	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,120	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	100,141.6	45.00	4,506.4	0.0136	224.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,822,697.0	9.76	17,789.5	0.4890	891.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 22,295.9		⑮ 1,116.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,232.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	5,807.0			0.4000	2.3
合 計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産小石川ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 5
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 2　区市町村名：東京都文京区 町名番地以下：小石川5－41－10
事業所等の延床面積	3,274.89 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 152	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 152	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	312,694.0	9.76	3,051.9	0.4890	152.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,051.9		⑮ 152.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,339.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,339.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 9			
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4	区市町村名	東京都台東区	
	町名番地以下	北上野1－9－12		
事業所等の延床面積	8,432.91 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 216	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 420	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 422	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 49.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	859,866.0	9.76	8,392.3	0.4890	420.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,392.3		⑮ 420.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,313.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,313.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル6号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 8
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 5　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：東上野5－24－8
事業所等の延床面積	10,127.58 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 278	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 540	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 543	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 53.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,105,681.0	9.76	10,791.4	0.4890	540.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,791.4		⑮ 540.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,496.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,505.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 6
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：北上野2－23－5
事業所等の延床面積	7,135.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 145	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 283	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 284	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 39.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	579,495.0	9.76	5,655.9	0.4890	283.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,655.9		⑮ 283.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,606.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,606.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 0
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：北上野1－8－1
事業所等の延床面積	3,888.28 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 201	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 202	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	412,755.0	9.76	4,028.5	0.4890	201.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,028.5		⑮ 201.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,641.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,641.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル4号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 1
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 0 5　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：上野7－12－14
事業所等の延床面積	4,197.89 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 113	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 220	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 221	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	451,035.0	9.76	4,402.1	0.4890	220.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,402.1		⑮ 220.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,592.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,592.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル5号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	8	4				
事業所等の所在地	〒	1	1	0	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都台東区			
	町名番地以下	北上野1－10－14												
事業所等の延床面積	14,987.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 457	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 886	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 890	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	101,017.4	45.00	4,545.8	0.0136	226.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,350,128.0	9.76	13,177.2	0.4890	660.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,723.0		⑮ 886.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,762.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	6,027.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル7号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 2
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 0 3　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：根岸1－2－17
事業所等の延床面積	4,734.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 97	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 190	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 191	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 40.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	388,744.0	9.76	3,794.1	0.4890	190.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,794.1		⑮ 190.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,724.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,724.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル8号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 3
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 5　区市町村名：東京都台東区 町名番地以下：東上野6－9－3
事業所等の延床面積	8,190.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 333	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 647	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 651	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,324,702.0	9.76	12,929.1	0.4890	647.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,929.1		⑮ 647.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,031.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,301.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル9号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	3	4				
事業所等の所在地	〒	1	1	0	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都台東区			
	町名番地以下	北上野2－8－7												
事業所等の延床面積	6,858.52	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 256	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 497	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 499	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,018,071.0	9.76	9,936.4	0.4890	497.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,936.4		⑮ 497.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,196.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,196.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新永ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 5
事業所等の所在地	〒 1 3 6 － 0 0 7 1　区市町村名：東京都江東区 町名番地以下：亀戸2-35-13
事業所等の延床面積	9,707.31 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 227	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 442	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 445	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 45.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	904,396.0	9.76	8,826.9	0.4890	442.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,826.9		⑮ 442.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,719.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,719.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新橋ビル										
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	5	
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	0	4	区市町村名	東京都港区
	町名番地以下	新橋6－9－8									
事業所等の延床面積	8,398.12	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満							
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有										
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 390	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 757	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 760	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 90.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,549,931.0	9.76	15,127.3	0.4890	757.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,127.3		⑮ 757.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,516.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,516.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新橋山根ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 7
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：東新橋2－5－14
事業所等の延床面積	2,773.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 125	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 243	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 244	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 87.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	497,463.0	9.76	4,855.2	0.4890	243.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 4,855.2		⑮ 243.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	2,806.0			0.2660	0.7
	公共下水道	□	m^3	2,806.0			0.4000	1.1
合　計								⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新虎ノ門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 0 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：虎ノ門4－3－9
事業所等の延床面積	8,100.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 483	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 938	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 942	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 115.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	18,671.9	45.00	840.2	0.0136	41.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,833,798.0	9.76	17,897.9	0.4890	896.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,738.1		⑮ 938.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,935.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,724.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿アイランドウイング													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	1	8				
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都新宿区			
	町名番地以下	西新宿6－3－1												
事業所等の延床面積	20,141.65	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 959	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,775	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,779	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)		□	MJ	5,228,000.0	1.36	7,110.1	0.0600	313.7
	その他(冷水)		□	MJ	5,579,000.0	1.36	7,587.4	0.0600	334.7
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,304,125.0	9.76	22,488.3	0.4890	1,126.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 37,185.8		⑮ 1,775.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,373.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	10,092.0			0.4000	4.0
合 計									⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿ガーデンタワーアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 4
事業所等の所在地	〒 1 6 9 － 0 0 7 2　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：大久保3-8-4
事業所等の延床面積	802.66 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 146	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 180.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	10,749.2	45.00	483.7	0.0136	24.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	248,219.0	9.76	2,422.6	0.4890	121.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,906.3		⑮ 145.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,646.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,646.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿セントラルパークタワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 2
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：西新宿6-18-1
事業所等の延床面積	58,191.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,137	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,209	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,218	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 37.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	740.8	45.00	33.3	0.0136	1.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,515,048.0	9.76	44,066.9	0.4890	2,207.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 44,100.2		⑮ 2,209.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,995.0			0.2660	3.5
	公共下水道		□	m^3	13,932.0			0.4000	5.6
合　計									⑯ 9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿御苑ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 0
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 2　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：新宿2－13－12
事業所等の延床面積	5,264.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 187	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 364	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 365	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	744,985.0	9.76	7,271.1	0.4890	364.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,271.1		⑮ 364.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,257.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,257.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿三光町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	1	9				
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	2	2	区市町村名	東京都新宿区			
	町名番地以下	新宿5－15－5												
事業所等の延床面積	7,979.88	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 300	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 584	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 585	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,964.3	45.00	628.4	0.0136	31.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,130,888.0	9.76	11,037.5	0.4890	553.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,665.9		⑮ 584.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,528.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,123.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新赤坂ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	5	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	赤坂4－2－6												
事業所等の延床面積	19,711.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 722	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,403	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,409	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 71.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,870,716.0	9.76	28,018.2	0.4890	1,403.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 28,018.2		⑮ 1,403.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,799.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,799.0			0.4000	3.9
合 計									⑯ 6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新富ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	4	1	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	新富2－14－4												
事業所等の延床面積	4,835.08	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 123	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 239	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 240	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	490,781.0	9.76	4,790.0	0.4890	240.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,790.0		⑮ 240.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,064.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,064.0			0.4000	0.8
合 計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	1	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	5	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田美土代町7番地												
事業所等の延床面積	29,031.79	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,256	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,440	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,448	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 84.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,989,826.0	9.76	48,700.7	0.4890	2,440.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 48,700.7		⑮ 2,440.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,419.0			0.2660	3.3
	公共下水道		□	m^3	12,419.0			0.4000	5.0
合 計									⑯ 8.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル2号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 5			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 4 1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田須田町1－23－1		
事業所等の延床面積	18,840.38 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 797	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,549	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,554	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 82.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	3,168,378.0	9.76	30,923.4	0.4890	1,549.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 30,923.4		⑮ 1,549.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,638.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,638.0			0.4000	3.5
合　計									⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友神保町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	5	1	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	神田神保町3－25												
事業所等の延床面積	6,322.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 211	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 410	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 414	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	839,945.0	9.76	8,197.9	0.4890	410.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,197.9		⑮ 410.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,651.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,651.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産人形町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 9
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：日本橋堀留町2－2－1
事業所等の延床面積	4,837.37 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 198	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 385	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 386	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 79.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	788,399.0	9.76	7,694.8	0.4890	385.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,694.8		⑮ 385.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,305.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,305.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友水道橋ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	4	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	猿楽町2－7－8												
事業所等の延床面積	5,747.25	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 247	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 479	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総 計(④=②+③)	④ 482	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	981,246.0	9.76	9,577.0	0.4890	479.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 9,577.0		⑮ 479.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,021.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	5,021.0			0.4000	2.0
合 計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	水道橋HSビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	8	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	1	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	三崎町1－2－8												
事業所等の延床面積	1,645.69	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 105	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 63.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	215,179.0	9.76	2,100.1	0.4890	105.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 2,100.1		⑮ 105.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	929.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	929.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産水道橋西口ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 6			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	神田三崎町2-20-5		
事業所等の延床面積	3,278.43 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 54.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	369,670.0	9.76	3,608.0	0.4890	180.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,608.0		⑮ 180.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,953.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,953.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西五反田ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 9
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 3 1　区市町村名：東京都品川区 町名番地以下：西五反田3－6－21
事業所等の延床面積	7,558.38 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 255	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 496	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 498	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,015,475.0	9.76	9,911.0	0.4890	496.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,911.0		⑮ 496.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,501.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,501.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西五反田七丁目ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 4
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 3 1　区市町村名：東京都品川区 町名番地以下：西五反田7－25－9
事業所等の延床面積	5,824.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	名称変更:旧　西五反田ESビル

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 137	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 266	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 267	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 45.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	545,497.0	9.76	5,324.1	0.4890	266.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,324.1		⑮ 266.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,365.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,365.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 3			
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3	区市町村名	東京都新宿区	
	町名番地以下	西新宿7－20－1		
事業所等の延床面積	32,311.86 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1,105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 2,145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 2,152	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 66.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	4,388,370.0	9.76	42,830.5	0.4890	2,145.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 42,830.5		⑮ 2,145.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,852.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	11,852.0			0.4000	4.7
合　計									⑯ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 4
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：西新宿8－15－17
事業所等の延床面積	4,087.17 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 108	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 211	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 212	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	432,520.0	9.76	4,221.4	0.4890	211.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,221.4		⑮ 211.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,752.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,752.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル3号館										
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	0	0	
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都新宿区
	町名番地以下	西新宿4－15－3									
事業所等の延床面積	12,551.03	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満							
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有										
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 369	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 716	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 719	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 57.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	32,402.4	45.00	1,458.1	0.0136	72.7
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,316,490.0	9.76	12,848.9	0.4890	643.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,307.1		⑮ 716.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,891.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,259.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 1
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：西新宿4－34－7
事業所等の延床面積	16,510.97 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 648	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,258	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,261	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,573,457.0	9.76	25,116.9	0.4890	1,258.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 25,116.9		⑮ 1,258.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,246.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,246.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル6号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 2			
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 7 1	区市町村名	東京都渋谷区	
	町名番地以下	本町3－12－1		
事業所等の延床面積	19,030.97 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 829	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,611	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,614	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 84.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	3,295,288.0	9.76	32,162.0	0.4890	1,611.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 32,162.0		⑮ 1,611.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,832.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	5,832.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西新宿8丁目ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 3 1
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：西新宿8－15－1
事業所等の延床面積	12,158.20 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 424	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 823	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 830	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 67.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	82,238.2	45.00	3,700.7	0.0136	184.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,306,309.0	9.76	12,749.6	0.4890	638.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,450.3		⑮ 823.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,813.0			0.2660	2.9
	公共下水道		□	m^3	10,813.0			0.4000	4.3
合　計									⑯ 7.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル西館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	5	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	赤坂8－5－26												
事業所等の延床面積	23,946.57	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 943	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,830	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,839	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	100,904.3	45.00	4,540.7	0.0136	226.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,280,026.0	9.76	32,013.1	0.4890	1,603.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 36,553.7		⑮ 1,830.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,423.0			0.2660	3.3
	公共下水道		□	m^3	15,237.0			0.4000	6.1
合 計									⑯ 9.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル東館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 1			
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	赤坂8－5－27		
事業所等の延床面積	15,770.94 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 487	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 947	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 953	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 60.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	31,119.5	45.00	1,400.4	0.0136	69.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,794,201.0	9.76	17,511.4	0.4890	877.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,911.8		⑮ 947.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,261.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	9,484.0			0.4000	3.8
合　計									⑯ 6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：赤坂8－10－24
事業所等の延床面積	2,763.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	名称変更:旧　住友不動産赤坂ビル

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 130	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 253	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 255	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 91.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	518,304.0	9.76	5,058.6	0.4890	253.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,058.6		⑮ 253.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,193.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,193.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山通ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 5			
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 0 2	区市町村名	東京都渋谷区	
	町名番地以下	渋谷1－7－7		
事業所等の延床面積	9,565.68 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 511	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 993	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 995	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 103.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,032,689.0	9.76	19,839.0	0.4890	994.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,839.0		⑮ 994.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,006.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,006.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	青森県会館アップルビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	1	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	1	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	富士見2－3－11												
事業所等の延床面積	3,529.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 176	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 343	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 346	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 97.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	7,790.3	45.00	350.6	0.0136	17.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	666,913.0	9.76	6,509.1	0.4890	326.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,859.6		⑮ 343.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,573.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,573.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青葉台ヒルズ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 7
事業所等の所在地	〒 1 5 3 － 0 0 4 2　区市町村名：東京都目黒区 町名番地以下：青葉台4－7－7
事業所等の延床面積	17,746.70 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 672	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,304	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,308	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	106,338.8	45.00	4,785.2	0.0136	238.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,180,721.0	9.76	21,283.8	0.4890	1,066.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 26,069.1		⑮ 1,305.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,563.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	5,339.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：神田神保町2－36－1
事業所等の延床面積	8,887.54 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 251	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 487	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 490	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 54.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	997,743.0	9.76	9,738.0	0.4890	487.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,738.0		⑮ 487.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,455.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,455.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル東館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：西神田3－8－1
事業所等の延床面積	38,786.51 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,296	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,514	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,528	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	251,887.6	45.00	11,334.9	0.0136	565.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,986,898.0	9.76	38,912.1	0.4890	1,949.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 50,247.1		⑮ 2,514.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	20,966.0			0.2660	5.6
	公共下水道		□	m^3	21,099.0			0.4000	8.4
合　計									⑯ 14.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 4
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：西神田3－2－1
事業所等の延床面積	10,582.10 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 467	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 908	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 910	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 85.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,857,020.0	9.76	18,124.5	0.4890	908.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,124.5		⑮ 908.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,942.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,942.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田富士見ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 9 5
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 1　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：富士見1－8－19
事業所等の延床面積	18,204.69 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	名称変更:旧　角川第三本社ビル

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 472	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 917	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 923	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,875,502.0	9.76	18,304.9	0.4890	917.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,304.9		⑮ 917.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,632.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,632.0			0.4000	3.9
合　計									⑯ 6.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	川喜多メモリアルビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	8	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	一番町18												
事業所等の延床面積	4,999.02	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 113	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 219	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 220	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	449,441.0	9.76	4,386.5	0.4890	219.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,386.5		⑮ 219.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,686.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,686.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ガーデンウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 0
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：六本木1－6－3
事業所等の延床面積	3,400.52 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 119	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 232	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 233	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 68.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	478.5	45.00	21.5	0.0136	1.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	472,596.0	9.76	4,612.5	0.4890	231.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,634.1		⑮ 232.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,839.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,839.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ホシイチビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 1
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都新宿区 町名番地以下：西新宿7－22－12
事業所等の延床面積	3,444.17 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 147	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 285	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 287	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 82.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	583,860.0	9.76	5,698.5	0.4890	285.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,698.5		⑮ 285.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,171.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,171.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉九段ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 7
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 4　区市町村名：東京都千代田区 町名番地以下：九段南1-4-5
事業所等の延床面積	623.15 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	名称変更:旧　文祥九段ビル

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 84	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 84	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 134.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	1,994.2	45.00	89.7	0.0136	4.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	164,015.0	9.76	1,600.8	0.4890	80.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,690.5		⑮ 84.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	723.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	723.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝公園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	1	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝公園1－6－8												
事業所等の延床面積	1,310.77	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 16	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 32	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 32	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	65,631.0	9.76	640.6	0.4890	32.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 640.6		⑮ 32.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	237.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	237.0			0.4000	0.1
合 計									⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝大門ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	2	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝大門2－2－11												
事業所等の延床面積	3,610.35	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	371,533.0	9.76	3,626.2	0.4890	181.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,626.2		⑮ 181.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,141.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,141.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉新川ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	6	0				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	3	3	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	新川1－5－18												
事業所等の延床面積	2,709.56	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 122	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 122	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 45.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	250,604.0	9.76	2,445.9	0.4890	122.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,445.9		⑮ 122.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,131.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,131.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西新宿ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 2
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 7 1　区市町村名：東京都渋谷区 町名番地以下：本町4－12－7
事業所等の延床面積	3,213.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 139	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	285,744.0	9.76	2,788.9	0.4890	139.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,788.9		⑮ 139.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	873.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	873.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西麻布ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 6
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：西麻布4－3－11
事業所等の延床面積	2,995.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 76	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 149	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 149	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	305,489.0	9.76	2,981.6	0.4890	149.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,981.6		⑮ 149.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	540.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	540.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉赤坂ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：赤坂2－22－24
事業所等の延床面積	2,016.25 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 131	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 254	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 256	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 125.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	15,976.9	45.00	719.0	0.0136	35.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	447,488.0	9.76	4,367.5	0.4890	218.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,086.4		⑮ 254.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,263.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,263.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉白山ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	8	6				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	1	区市町村名	東京都文京区			
	町名番地以下	白山2－29－4												
事業所等の延床面積	1,760.60	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 67	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 131	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 131	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	269,092.0	9.76	2,626.3	0.4890	131.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 2,626.3		⑮ 131.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	800.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	800.0			0.4000	0.3
合 計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友大井町ビル南館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	7				
事業所等の所在地	〒	1	4	0	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都品川区			
	町名番地以下	大井1－20－10												
事業所等の延床面積	21,212.43	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,400	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,718	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,726	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 128.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	89,944.5	45.00	4,047.5	0.0136	201.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,147,562.0	9.76	50,240.2	0.4890	2,517.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 54,287.7		⑮ 2,719.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,150.0			0.2660	3.8
	公共下水道		□	m^3	12,998.0			0.4000	5.2
合 計									⑯ 9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友大井町ビル北館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 1
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 1 4　区市町村名：東京都品川区 町名番地以下：大井1－20－6
事業所等の延床面積	4,087.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 186	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 362	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 364	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	740,431.0	9.76	7,226.6	0.4890	362.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,226.6		⑮ 362.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,370.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,370.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大井町駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	0	5				
事業所等の所在地	〒	1	4	0	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都品川区			
	町名番地以下	大井1－28－1												
事業所等の延床面積	25,657.84	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 877	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,703	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,710	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,483,354.0	9.76	33,997.5	0.4890	1,703.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,997.5		⑮ 1,703.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,201.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	11,201.0			0.4000	4.5
合　計									⑯ 7.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝大門2－9－9
事業所等の延床面積	3,403.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 117	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 228	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 229	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	1,599.4	45.00	72.0	0.0136	3.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	459,626.0	9.76	4,485.9	0.4890	224.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,557.9		⑮ 228.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,402.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,402.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産第二東陽ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	4	6				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	1	6	区市町村名	東京都江東区			
	町名番地以下	東陽5－29－3												
事業所等の延床面積	4,504.53	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 153	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 298	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 299	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	611,383.0	9.76	5,967.1	0.4890	299.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 5,967.1		⑮ 299.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,360.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,360.0			0.4000	0.9
合 計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友池袋駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	8				
事業所等の所在地	〒	1	7	0	－	0	0	1	3	区市町村名	東京都豊島区			
	町名番地以下	東池袋1－10－1												
事業所等の延床面積	18,265.65	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 582	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,131	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,140	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	73,844.1	45.00	3,323.0	0.0136	165.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,974,705.0	9.76	19,273.1	0.4890	965.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 22,596.1		⑮ 1,131.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,164.0			0.2660	4.0
	公共下水道		□	m^3	14,371.0			0.4000	5.7
合 計									⑯ 9.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋西口ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	3				
事業所等の所在地	〒	1	7	1	－	0	0	2	1	区市町村名	東京都豊島区			
	町名番地以下	西池袋1－21－7												
事業所等の延床面積	7,094.92	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 211	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 411	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 413	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	10,397.3	45.00	467.9	0.0136	23.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	793,962.0	9.76	7,749.1	0.4890	388.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,216.9		⑮ 411.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,328.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,328.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋東ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	4				
事業所等の所在地	〒	1	7	0	－	0	0	1	3	区市町村名	東京都豊島区			
	町名番地以下	東池袋4-7-7												
事業所等の延床面積	16,384.68	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 649	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,261	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,268	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,579,754.0	9.76	25,178.4	0.4890	1,261.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 25,178.4		⑮ 1,261.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,035.0			0.2660	2.9
	公共下水道		□	m^3	11,035.0			0.4000	4.4
合 計									⑯ 7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産築地ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	4	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	4	5	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	築地7－17－1												
事業所等の延床面積	6,452.34	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 217	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 421	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 423	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	862,435.0	9.76	8,417.4	0.4890	421.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 8,417.4		⑮ 421.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,024.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,024.0			0.4000	1.2
合 計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	築地えとビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 5　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：築地1－12－6
事業所等の延床面積	11,518.34 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 274	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 532	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 536	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,089,597.0	9.76	10,634.5	0.4890	532.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,634.5		⑮ 532.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,977.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	6,977.0			0.4000	2.8
合　計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C801	共用部照明のフロアごとの管理
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友中野坂上ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 0
事業所等の所在地	〒 1 6 4 － 0 0 1 1　区市町村名：東京都中野区 町名番地以下：中央1-38-1
事業所等の延床面積	32,851.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,294	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,510	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,519	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	285,234.7	45.00	12,835.6	0.0136	640.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,824,324.0	9.76	37,325.4	0.4890	1,870.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 50,161.0		⑮ 2,510.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,890.0			0.2660	2.9
	公共下水道		□	m^3	16,078.0			0.4000	6.4
合　計									⑯ 9.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝浦3－12－7												
事業所等の延床面積	11,826.37	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 372	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 723	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 724	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,479,561.0	9.76	14,440.5	0.4890	723.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 14,440.5		⑮ 723.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,420.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,420.0			0.4000	1.0
合 計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ビル東館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	7	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝浦3-16-16												
事業所等の延床面積	12,885.63	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 272	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 530	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 41.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,083,672.0	9.76	10,576.6	0.4890	529.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,576.6		⑮ 529.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,774.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,774.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ファーストビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	0	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝浦4－6－8												
事業所等の延床面積	21,801.65	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 861	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,673	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,679	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,421,917.0	9.76	33,397.9	0.4890	1,673.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,397.9		⑮ 1,673.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,100.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,100.0			0.4000	4.0
合　計									⑯ 6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	0	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	芝浦3－1－35												
事業所等の延床面積	7,375.19	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 220	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 427	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 428	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	874,786.0	9.76	8,537.9	0.4890	427.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 8,537.9		⑮ 427.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,972.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,972.0			0.4000	0.8
合 計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東京日本橋タワーアネックス			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 0			
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 6 0 0 1	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	日本橋2-8-1		
事業所等の延床面積	4,403.29 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 184	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 184	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 41.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	376,855.0	9.76	3,678.1	0.4890	184.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,678.1		⑮ 184.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,440.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,440.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 9
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：東新橋2－12－7
事業所等の延床面積	8,462.61 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	リニューアルによるガス閉栓

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 301	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 585	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 586	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,197,535.0	9.76	11,687.9	0.4890	585.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,687.9		⑮ 585.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,973.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,973.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：東新橋2－11－7
事業所等の延床面積	2,829.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 101	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 196	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 196	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	402,353.0	9.76	3,927.0	0.4890	196.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,927.0		⑮ 196.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,380.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,380.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル6号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	浜松町1－2－4												
事業所等の延床面積	2,941.77	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 79	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 153	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 153	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	314,890.0	9.76	3,073.3	0.4890	154.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,073.3		⑮ 154.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,022.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,022.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル3号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 0			
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 3	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	浜松町1－10－14		
事業所等の延床面積	11,028.36 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 435	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 846	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 851	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 76.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,730,241.0	9.76	16,887.2	0.4890	846.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,887.2		⑮ 846.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,979.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	8,347.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東新橋一丁目ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	8	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	2	1	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	東新橋1－2－5												
事業所等の延床面積	6,530.46	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 192	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 373	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 374	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	764,472.0	9.76	7,461.2	0.4890	373.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 7,461.2		⑮ 373.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,425.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,425.0			0.4000	1.0
合 計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東陽駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	2				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	1	6	区市町村名	東京都江東区			
	町名番地以下	東陽2－2－20												
事業所等の延床面積	32,839.99	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,028	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,997	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,003	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 60.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,084,016.0	9.76	39,860.0	0.4890	1,997.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 39,860.0		⑮ 1,997.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,099.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,099.0			0.4000	4.0
合 計									⑯ 6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友南青山ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 8 5
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 6 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：南青山5－11－5
事業所等の延床面積	10,336.94 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 434	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 842	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 845	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	91,948.2	45.00	4,137.7	0.0136	206.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,300,567.0	9.76	12,693.5	0.4890	636.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,831.2		⑮ 842.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,439.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	4,838.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 3			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 4	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	二番町11－7		
事業所等の延床面積	4,399.42 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 114	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 222	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 222	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 50.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	455,270.0	9.76	4,443.4	0.4890	222.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,443.4		⑮ 222.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,405.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,405.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ファーストビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	4	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	二番町4-5												
事業所等の延床面積	18,600.40	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 601	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,167	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,173	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	1,048.8	45.00	47.2	0.0136	2.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,382,801.0	9.76	23,256.1	0.4890	1,165.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 23,303.3		⑮ 1,167.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,665.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,665.0			0.4000	3.9
合 計									⑯ 6.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日比谷ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 0 3　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：西新橋2－8－6
事業所等の延床面積	18,166.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 698	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,355	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,362	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	124,574.1	45.00	5,605.8	0.0136	279.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,199,537.0	9.76	21,467.5	0.4890	1,075.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 27,073.3		⑮ 1,355.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,207.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	11,010.0			0.4000	4.4
合　計									⑯ 7.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	2	3	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	日本橋本町1－5－4												
事業所等の延床面積	9,750.59	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 339	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 658	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 660	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 67.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,346,401.0	9.76	13,140.9	0.4890	658.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 13,140.9		⑮ 658.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,245.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,245.0			0.4000	1.7
合 計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日本橋箱崎ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	9				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	1	5	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	日本橋箱崎町24－1												
事業所等の延床面積	20,536.72	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	692	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,344	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総　計(④=②+③)	④	1,349	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,748,704.0	9.76	26,827.4	0.4890	1,344.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 26,827.4		⑮ 1,344.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,252.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	8,542.0			0.4000	3.4
合　計									⑯ 5.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋本町ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 6			
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 3	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	日本橋本町4－11－5		
事業所等の延床面積	7,659.40 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 198	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 386	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 389	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 50.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	789,761.0	9.76	7,708.1	0.4890	386.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,708.1		⑮ 386.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,507.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,507.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友入船ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 0
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 2　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：入船2－1－1
事業所等の延床面積	18,812.27 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 488	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 949	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 951	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	20,719.3	45.00	932.4	0.0136	46.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,846,060.0	9.76	18,017.5	0.4890	902.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,949.9		⑮ 949.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,148.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,148.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友入船ビル2号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 2			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 2	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	入船1－8－2		
事業所等の延床面積	3,709.50 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 126	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 33.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	259,006.0	9.76	2,527.9	0.4890	126.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,527.9		⑮ 126.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	768.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	768.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産箱崎ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 7
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 1 5　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：日本橋箱崎町16－9
事業所等の延床面積	5,916.50 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	リニューアルによる地域冷暖房廃止

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 164	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 27.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	336,095.0	9.76	3,280.3	0.4890	164.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,280.3		⑮ 164.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	629.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	629.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産八丁堀ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 3			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 2	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地以下	八丁堀3-3-5		
事業所等の延床面積	8,977.12 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 183	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 356	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 357	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 39.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	728,886.0	9.76	7,113.9	0.4890	356.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,113.9		⑮ 356.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,990.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,990.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友半蔵門ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	9	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	隼町3－16												
事業所等の延床面積	9,236.63	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 236	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 459	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 465	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	940,358.0	9.76	9,177.9	0.4890	459.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,177.9		⑮ 459.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,315.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,315.0			0.4000	4.1
合　計									⑯ 6.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	半蔵門ファーストビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 0			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	麹町1－4		
事業所等の延床面積	13,772.71 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 711	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,381	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,385	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 100.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,826,066.0	9.76	27,582.4	0.4890	1,381.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 27,582.4		⑮ 1,381.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,180.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,180.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産半蔵門駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	9	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	麹町1－6－4												
事業所等の延床面積	17,219.70	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 299	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 580	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 581	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 33.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,187,727.0	9.76	11,592.2	0.4890	580.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 11,592.2		⑮ 580.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,008.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,008.0			0.4000	0.8
合 計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 8
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 4　区市町村名：東京都文京区 町名番地以下：後楽2－3－21
事業所等の延床面積	9,902.91 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 401	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 780	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 782	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,596,004.0	9.76	15,577.0	0.4890	780.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,577.0		⑮ 780.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,144.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,144.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル2号館・ウィング													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	9				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	4	区市町村名	東京都文京区			
	町名番地以下	後楽2-2-23・22												
事業所等の延床面積	7,068.25	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 238	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 462	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 465	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	945,757.0	9.76	9,230.6	0.4890	462.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,230.6		⑮ 462.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,219.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,219.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 2
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 4　区市町村名：東京都文京区 町名番地以下：後楽2-1-2
事業所等の延床面積	8,204.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 208	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 405	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 406	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	828,610.0	9.76	8,087.2	0.4890	405.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,087.2		⑮ 405.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,564.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,564.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	2	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	飯田橋3－8－5												
事業所等の延床面積	16,012.03	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 658	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,277	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,281	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 79.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,613,194.0	9.76	25,504.8	0.4890	1,277.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 25,504.8		⑮ 1,277.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,601.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,601.0			0.4000	2.6
合 計									⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	0				
事業所等の所在地	〒	1	4	0	－	0	0	0	2	区市町村名	東京都品川区			
	町名番地以下	東品川4－10－27												
事業所等の延床面積	31,226.34	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 999	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,939	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,949	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	111,242.3	45.00	5,005.9	0.0136	249.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,456,079.0	9.76	33,731.3	0.4890	1,690.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 38,737.2		⑮ 1,939.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	17,492.0			0.2660	4.7
	公共下水道		□	m^3	14,500.0			0.4000	5.8
合　計									⑯ 10.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川シーサイドビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 2			
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 0 2	区市町村名	東京都品川区	
	町名番地以下	東品川4－13－9		
事業所等の延床面積	21,744.44 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 874	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,696	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 12	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,708	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 77.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	211,267.2	45.00	9,507.0	0.0136	474.1
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,499,715.0	9.76	24,397.2	0.4890	1,222.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,904.2		⑮ 1,696.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	18,964.0			0.2660	5.0
	公共下水道		□	m^3	18,964.0			0.4000	7.6
合　計									⑯ 12.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川港南ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5	区市町村名	東京都港区	
	町名番地以下	港南3－8－1		
事業所等の延床面積	17,331.11 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点	名称変更：旧　森永乳業港南ビル			

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 412	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 800	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 804	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 46.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	82,004.2	45.00	3,690.2	0.0136	184.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,259,849.0	9.76	12,296.1	0.4890	616.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,986.3		⑮ 800.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,938.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	5,637.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友浜松町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 3
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 3　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：浜松町1－18－16
事業所等の延床面積	16,605.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 420	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 817	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 819	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,671,052.0	9.76	16,309.5	0.4890	817.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,309.5		⑮ 817.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,418.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,418.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	浜松町TSビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	3	区市町村名	東京都港区			
	町名番地以下	浜松町2－8－14												
事業所等の延床面積	5,183.74	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	□ 1年度分	■ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点	サブリース契約終了													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 17	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 33	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 33	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 6.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	67,617.0	9.76	659.9	0.4890	33.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 659.9		⑮ 33.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	199.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	199.0			0.4000	0.1
合 計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産浜町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	4	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	0	7	区市町村名	東京都中央区			
	町名番地以下	日本橋浜町3－42－3												
事業所等の延床面積	10,605.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 436	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 846	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 848	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 79.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	90,154.1	45.00	4,056.9	0.0136	202.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,316,781.0	9.76	12,851.8	0.4890	643.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,908.7		⑮ 846.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,467.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	2,736.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産平河町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	9	3	区市町村名	東京都千代田区			
	町名番地以下	平河町2－1－1												
事業所等の延床面積	12,326.31	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 341	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 663	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 666	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 53.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,356,885.0	9.76	13,243.2	0.4890	663.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,243.2		⑮ 663.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,973.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,973.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	1				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	5	1	区市町村名	東京都江東区			
	町名番地以下	枝川1－9－6												
事業所等の延床面積	9,050.76	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 513	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 995	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 999	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 109.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	116,015.0	45.00	5,220.7	0.0136	260.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,502,740.0	9.76	14,666.7	0.4890	734.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,887.4		⑮ 995.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,573.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	5,940.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲TKビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	0				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	5	1	区市町村名	東京都江東区			
	町名番地以下	枝川1－9－4												
事業所等の延床面積	6,275.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 191	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 371	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 377	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	758,935.0	9.76	7,407.2	0.4890	371.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,407.2		⑮ 371.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,407.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,407.0			0.4000	3.8
合　計									⑯ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産本郷ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	9				
事業所等の所在地	〒	1	1	3	－	0	0	3	3	区市町村名	東京都文京区			
	町名番地以下	本郷3－22－5												
事業所等の延床面積	7,427.28	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 272	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 528	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 529	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 71.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,081,438.0	9.76	10,554.8	0.4890	528.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,554.8		⑮ 528.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,290.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,290.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	留園ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 8
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：芝公園1－3－1
事業所等の延床面積	6,826.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 202	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 393	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 394	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	805,000.0	9.76	7,856.8	0.4890	393.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,856.8		⑮ 393.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,942.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,942.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 5
事業所等の所在地	〒 1 3 0 － 0 0 2 6　区市町村名：東京都墨田区 町名番地以下：両国2-10-8
事業所等の延床面積	12,499.55 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 355	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 688	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 691	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 55.0	kg-CO_2/m^2

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	86,947.7	45.00	3,912.6	0.0136	195.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,009,704.0	9.76	9,854.7	0.4890	493.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,767.4		⑮ 688.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,423.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	4,536.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル別館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	3	6				
事業所等の所在地	〒	1	3	0	－	0	0	2	6	区市町村名	東京都墨田区			
	町名番地以下	両国2-10-6												
事業所等の延床面積	1,354.10	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 59	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	122,481.0	9.76	1,195.4	0.4890	59.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 1,195.4		⑮ 59.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	523.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	523.0			0.4000	0.2
合 計									⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六甲ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 1
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3　区市町村名：東京都中央区 町名番地以下：新川1－4－1
事業所等の延床面積	10,232.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 337	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 655	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 658	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	67,128.4	45.00	3,020.8	0.0136	150.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,032,383.0	9.76	10,076.1	0.4890	504.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,096.8		⑮ 655.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,842.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	5,449.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六本木グランドプラザ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 0
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：六本木3-1-25
事業所等の延床面積	2,749.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 195	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 378	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 382	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 137.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	26,265.9	45.00	1,182.0	0.0136	58.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	654,305.0	9.76	6,386.0	0.4890	320.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,568.0		⑮ 378.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,571.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,571.0			0.4000	2.6
合　計									⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六本木通ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2　区市町村名：東京都港区 町名番地以下：六本木7－18－18
事業所等の延床面積	11,737.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 546	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,061	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,065	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 90.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,170,199.0	9.76	21,181.1	0.4890	1,061.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,181.1		⑮ 1,061.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,394.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,394.0			0.4000	3.0
合　計									⑯ 4.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A401	テナントにエネルギー使用量提供
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握		
		B106	過去のデータによる傾向の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C808	温湿度の適正管理
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
				C807	その他設備の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）